

# きゅうしゅう

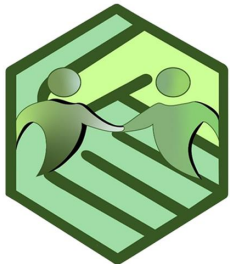
NO.62



写真：鎮西之眼（提供：航空自衛隊背振山分屯基地）

## 目次 CONTENTS

- 1. 部隊紹介：航空自衛隊  
背振山分屯基地
- 2. 自治体紹介：佐賀県 神埼市
- 3. 業務紹介：総務部 総務課
- 4. インフォメーション：防衛問題セミナーほか



防衛省と地域社会との協力を象徴するエンブレム



写真：樹氷とレーダー（提供：航空自衛隊背振山分屯基地）

九州防衛局 Kyushu Defense Bureau

<https://www.mod.go.jp/rdb/kyushu/>

編集・発行

九州防衛局 総務部

福岡市博多区博多駅東2丁目10-7 福岡第2合同庁舎

TEL092-483-8811





# 1. 部隊紹介

## 航空自衛隊背振山分屯基地紹介

### 分屯基地司令挨拶

九州防衛局広報誌「きゅうしゅう」をご覧の皆様、航空自衛隊第43警戒隊長 兼ねて 背振山分屯基地司令(第41代)の笛田です。佐賀県唯一の航空自衛隊の基地である背振山分屯基地について紹介致します。

分屯基地は、佐賀県と福岡県の県境にある標高約1,000メートルの脊振山の上にあります。佐賀県の神崎市及び吉野ヶ里町並びに福岡県福岡市にまたがっていますが、住所は本部庁舎が位置する神崎市脊振町となります。山の上にある分屯基地は、1年を通じて麓より気温が低く、霧に覆われる日が多く、冬は雪が降るなど、厳しい環境の中で隊員は勤務しております。

分屯基地の主な部隊は、第43警戒隊という警戒管制部隊であり、分屯基地にある航空警戒管制レーダーJ/FPS-3を用いて日夜、日本の空を警戒監視する等の任務に従事しています。

我が国が戦後最も厳しく複雑な安全保障環境に直面する中、引き続き、国民の皆様への負託に応えられるよう任務に邁進するとともに、部隊の精強化のため訓練に精進して参ります。また、麓から遠い山の上にある分屯基地を身近に感じ、所在する部隊へのご理解を深めていただけるよう、各種行事等を通じた皆様との繋がりを大事にするるとともに、部隊の活動等に係る情報発信に精一杯努めて参ります。



第43警戒隊長  
兼 背振山分屯基地司令  
ふえだ ひろき  
2等空佐 笛田 洋樹

### 分屯基地沿革

- 昭和29年10月 陸上自衛隊福岡駐屯地において第9041部隊 編成
- 昭和31年 8月 第9041部隊 脊振山へ展開完了
- 昭和35年 7月 米軍から航空自衛隊へ任務及び施設移管
- 昭和36年 7月 第43警戒群 編成
- 令和 3年 7月 第43警戒隊 へ改編



### 所在部隊紹介

## 第43警戒隊



分屯基地にある航空警戒管制レーダー等により、国籍不明の航空機、弾道ミサイル等の脅威に対する警戒監視、航空自衛隊の航空機に対する飛行訓練支援を行う部隊です。【部隊マーク】

**監視小隊** 警戒監視等を担う部署です。

**通信電子小隊** レーダ及び通信機器の整備等を担う部署です。



**基地業務小隊** 隊員の食事及び福利厚生、輸送業務、補給、基地警備、施設管理等を担う部署です。





# 西部高射群指揮所運用隊背振山中継班



地对空誘導弾ペトリオットPAC-3システムの通信回線を構成するため、無線中継装置等を運用し、音声及びデータの無線中継業務等を実施する部隊です。

【部隊マーク】



## 近年の主な地域行事等



職場体験 (令和4年7月・8月)

佐賀県立 唐津工業高校、佐賀県立 唐津商業高校、佐賀県立 唐津南高校、佐賀県立 鳥栖工業高校、佐賀県立 香楠中学校、唐津市立 鏡中学校の学生に対し、職場体験を実施し、航空自衛隊(背振山分屯基地)の理解促進を図るもの。



山頂交流会 (令和4年8月)

神崎市立脊振小学校及び福岡市立脇山小学校の児童に対し、職場体験を実施し、航空自衛隊(背振山分屯基地)の理解促進と学校同士との交流を図るもの。



66周年基地開設記念行事 (令和4年9月)

分屯基地行事として神崎市防衛協会、背振山分屯基地の共催で実施し、招待者に対する日頃の支援の御礼と市民に対する航空自衛隊(背振山分屯基地)の理解促進を図るもの。



佐賀インターナショナルハルソフエスタ2022 (令和4年11月)

嘉瀬川河川敷(佐賀県佐賀市)において佐賀地方協力本部と協力し、来場者に対して防衛省自衛隊の理解促進を図るもの。



ふれあいコンサート in 神崎 (令和5年1月)

分屯基地行事として神崎市防衛協会、吉野ヶ里町防衛協会、背振山分屯基地の共催で実施し、佐賀県立 神崎高校及び西部航空音楽隊の音楽演奏を通じて来場者に対して航空自衛隊(背振山分屯基地)の理解促進を図るもの。



五ヶ山・背振山クロストレール (令和5年3月)

クロストレールのエイドステーション(福岡市立脊振少年自然の家)においてレース参加者等に対して航空自衛隊(背振山分屯基地)の理解促進を図るもの。



ツール・ド・九州2023 In 唐津 (令和5年4月)

ポートルースからつ(佐賀県唐津市)において佐賀地方協力本部と協力し、来場者に対して防衛省自衛隊の理解促進を図るもの。



体験入隊【登山訓練】 (令和5年4月及び5月)

神崎市役所職員に対し、体験入隊を実施することで、規律心及び団結心などを醸成させるとともに、航空自衛隊(背振山分屯基地)の理解促進を図るもの。



## 2. 自治体紹介 (佐賀県神崎市)



### 市長あいさつ

神崎市は、佐賀県の東部に位置する人口約3万人の、ゆったりとした時間が流れる水と緑に囲まれた美しいまちです。

北は脊振山地を分水嶺として福岡市と接し、南は筑後川が流れ、深い森をなす山間部から広々とした田園地帯まで、標高差1000mに及ぶ地形は変化に富んだ自然を創り出しています。

豊かな土壌と水資源を活かし、良質米「さがびより」、ブランドいちご「いちごさん」のほか、アスパラガスや小ネギ、シイタケなどの栽培が盛んで、390年の伝統ある神埼そうめんは、市の特産品として愛されています。

市内には、全国的に著名な吉野ヶ里歴史公園や九年庵をはじめ、歴史的な建造物や寺社などの文化遺産も多く、特色ある郷土芸能や伝統行事が継承されています。

ぜひ神崎市にお越しください。



神崎市長 内川 修治

### 基地とのかかわり

本市の脊振町には、航空自衛隊背振山分屯基地が所在しています。

平時においては、「防衛に関する講演会」や「基地で行う記念行事」、「ふれあいコンサート」など、様々な行事を通じて、市民との交流を深められています。

今年は本市新規採用職員の研修として、体験入隊を行いました。また、市の広報誌で基地の紹介を行うなど、互いに協力し、市民の防衛に関する理解の促進、意識の高揚に努めています。





## 脊振町の観光

### 脊振神社上宮弁財天石宝殿

脊振山頂には、石造りの石宝殿が建てられ、内部に弁財天が祀られています。

江戸時代に福岡藩と佐賀藩との間に国境争いがあり、勝訴した佐賀藩が元禄元年(1696年)に国境や勝訴を後世に残すべく石宝殿を建立しました。

石材は花崗岩で、鍋島家の杏葉紋が施され、この他にも鳥居、灯籠、玉垣が作られています。

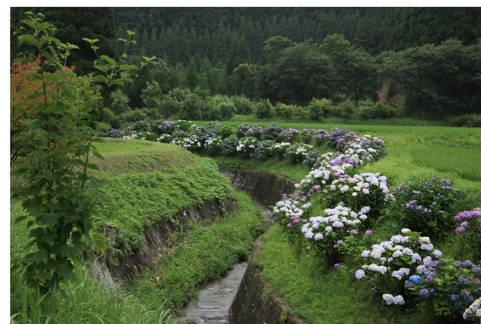
5月の弁財天祭で開帳されます。



### 白木地区のアジサイ

標高600m脊振町の白木地区には、約2kmに渡り「あじさいロード」があります。

道路の両側には、色とりどりの紫陽花が咲き誇ります。標高が高いため、6月下旬から7月上旬にかけて、見頃を迎えます。



## 神埼市のふるさと納税

佐賀県神埼市では、選りすぐりの特産品を返礼品として用意しています。

▶こちらのQRコードからご覧ください



神埼市HP



「さがびより」は、米の食味ランキングで最高評価『特A』を13年連続で受賞し続けている佐賀県を代表するお米です。艶が良く、粒が大きく、ふっくらモチモチとした食感で、噛むほどに香りと甘みが口いっぱい広がります。

豊かな佐賀平野で、磨きあげられ、選り抜かれた肉の芸術品「佐賀牛」。格付基準の高さは、全国数ある銘柄牛の中でも最上クラスといわれ、全国屈指のブランドを確立しています。



390年の伝統がある「神埼そうめん」。脊振山系、城原川の良質な水と佐賀平野の小麦、そして豊富な水量を活かした水車の利用でそうめんづくりが盛んになりました。夏は冷やしそうめん、冬はにゅうめんで、1年を通して楽しめます。

「プリン県」佐賀にある神埼市からお届けする、老舗すし店、養鶏農家、いちご農家、プリン専門店などが手掛けるプリン。濃厚で、とろっとろける口あたりの絶品プリンを是非ご賞味ください。





## 3. 業務紹介

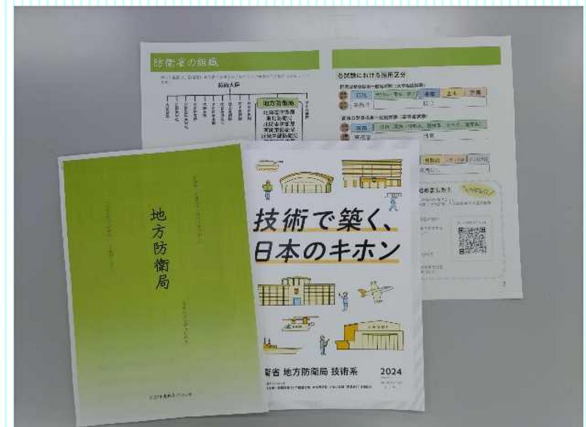
### 総務部総務課

九州防衛局は、防衛省の地方支分部局として、九州の7県を管轄しており、①防衛政策についての理解を得るための情報提供や説明の実施、②自衛隊や在日米軍が使用する防衛施設の建設、③防衛施設用地の取得・管理、訓練に伴う障害の軽減や損失に対する補償など、幅広い業務を行い、国民と自衛隊及び在日米軍との架け橋となっています。

総務課は、当局の窓口として、当局の業務が円滑に進むよう各部署を縁の下から支え、局全体のバックアップをしています。

### 総務課の主な業務

- ・局内の総合調整に関すること
- ・公文書の管理に関すること
- ・公益通報に関すること
- ・情報保証に関すること
- ・個人情報の保護に関すること
- ・情報の公開に関すること
- ・秘密の保全に関すること
- ・職員の人事、採用、教育に関すること
- ・職員の福利厚生、保健衛生に関すること
- ・駐留軍等労働者の労務管理に関すること



2024年度採用パンフレット

### 労務管理とは??

当局管内には、佐世保海軍施設ほか多くの在日米軍施設・区域が所在しており、これらの在日米軍施設では多くの駐留軍等労働者（在日米軍従業員）が勤務しています。

当局は、この労働者の雇用主として、駐留軍等労働者の雇入れ、給与支給額の決定及び支払いなどの労務管理事務を行っています。

また、労働者の募集、給与の計算、福利厚生及び永年勤続者表彰式の実施などの事務を独立行政法人駐留軍等労働者労務管理機構佐世保支部と連携しながら行っています。



在日米軍従業員永年勤続者表彰式



## 4. インフォメーション

### 第42回防衛問題セミナー

開催日時:令和5年3月21日(火・祝) 13:00~15:15

会場:新富町文化会館 イベントホール(宮崎県新富町)

#### ■ テーマ「宮崎から日本の安全保障を考える」

3月21日(火・祝)、宮崎県新富町において、「宮崎から日本の安全保障を考える」と題し、九州防衛局主催の『第42回防衛問題セミナー』を宮崎県、新富町、西都市、高鍋町及び木城町の後援により開催しました(来場者約80名)。

#### ● 第1部：新たな国家安全保障戦略、国家防衛戦略、防衛力整備計画

国家安全保障戦略の概要、ロシアによるウクライナ侵略の教訓及び我が国の防衛の基本方針体制などについて説明しました。



防衛省防衛政策局防衛政策課長  
飯島 秀俊

#### ● 第2部：航空自衛隊(新田原基地)の活動等

航空自衛隊の活動、これからの航空自衛隊及び新田原基地の活動などについて説明しました。



空自第5航空団 兼 新田原基地司令  
空将補 藤永 国博

#### ● 第3部：自衛隊の仕事図鑑 ～様々な自衛官とのトークセッション～

トークゲストに宮崎県出身の陸・海・空の若手自衛官5名を招き、遠藤九州防衛局企画部長が進行役のもと、トークセッションが行われました。自衛官を目指した理由、さまざまな職種の仕事内容及び宮崎の魅力など、現役若手自衛官の生の声が語られ、会場は盛り上がりました。



来場者からは、「自衛隊、防衛に関する意識がとても深まった。次のセミナーも是非参加したい」、「基地周辺地域の方の参加が多く、自衛隊と地域を結びつける内容だった」、「第3部は、若い自衛官の生の声が聞けて、面白い企画だった」などのご感想をいただきました。

九州防衛局では、今後も防衛省の諸施策や自衛隊の活動について、より多くの方々に理解してもらうため、九州各地で『防衛問題セミナー』を開催していく予定ですので是非ともご参加ください。

過去の防衛問題セミナーの実績と今後の予定については、こちら ⇒





## 「おんがみらいテラス」が完成

福岡県遠賀町において、住民と自衛隊との交流拠点としての機能を備えた「おんがみらいテラス」が完成し、令和5年3月25日（土）に完成記念式典が行われ、伊藤哲也九州防衛局長が来賓として出席しました。

式典では、古野修遠賀町長が式辞の中で「おんがみらいテラスは、駅周辺という立地を生かし、多くの人々が交流する交流施設となっております。しかしながら、交流だけではなく、積極的にさまざまな事業を展開することでにぎわいを生み出し、そのにぎわいを駅周辺に波及させ、ひいては遠賀町全体を活性化させていく、その起爆剤となることを目指した施設となっております。」と述べるとともに関係者に謝意を表しました。次に、伊藤九州防衛局長が、「今般、芦屋基地の周辺地域の住民の皆様との交流拠点として、おんがみらいテラスの整備に係る補助をさせていただいたところ、九州防衛局としても、こうした事業を通じて遠賀町の発展に微力ながら貢献できるのは、この上ない喜びです。」との祝辞を述べました。

当該施設は、鉄骨造地上4階建てで、1階にはギャラリー等があり、2階にはテラスや多目的室等、3階にはキッズスペース等、4階には施設の機械等が設置されています。

九州防衛局は本事業に関し、防衛施設周辺民生安定施設整備事業（まちづくり支援事業）として、約11億7千万円の補助金（総事業費の10分の7.5）を支援させていただいています。



▲施設外観



▲式辞を述べる古野遠賀町長



▲祝辞を述べる伊藤九州防衛局長

## JA福岡京築直売所「京築恵みの郷（ちくじょう店）」が完成

福岡県築上町において、農業用施設（農産物直売所）としての機能を備えた「京築恵みの郷（ちくじょう店）」が完成し、令和5年3月19日（日）に落成式が行われ、北川高生九州防衛局次長が来賓として出席しました。

落成式では、時本数章代表理事組合長が式辞の中で「お陰様で、このような立派な直売所が完成いたしました。これもひとえに、本日ここにお集まりを頂いております皆様のご協力で、こうして竣工式という記念すべき日を迎えることができました。これまでのご支援、誠に有難う御座いました。」と述べられ、また、武道修司築上町議会議長からは「この京築恵みの郷が地域経済に与える大きな影響にも期待が寄せられます。地元の生産者や事業者の皆様が活躍され、地域経済の発展に寄与することを願っています。」と述べるとともに関係者に謝意を表しました。次に、北川九州防衛局次長が、「今般、築城飛行場周辺における農業経営の安定に寄与する施設として、「京築恵みの郷ちくじょう店」の整備に係る補助をさせていただいたところ、九州防衛局としても、こうした事業を通じて築上町の発展に微力ながら貢献できるのは、この上ない喜びです。」との祝辞を述べました。

当該施設は、鉄骨造平屋建てで、農産物売場や厨房、軽食スペース等が設けられています。

九州防衛局は本事業に関し、防衛施設周辺民生安定施設整備事業（農業用施設）として、約1億円の補助金（総事業費の3分の2）を支援させていただいています。



▲施設外観



▲式辞を述べる時本組合長



▲祝辞を述べる武道築上町議会議長



▲祝辞を述べる北川九州防衛局次長





## 移転措置事業における税金の優遇措置 の適用期限の延長について



防衛省の移転措置事業(※)により、土地などを譲渡される場合における税金の優遇措置(課税の特例)について、**適用期限が3年間延長**されました。

### 事業用資産の買換えの課税の特例【所得税、法人税】

#### ◆ 特例措置の内容

- 事業用資産(店舗、事業所や農地等)を国に譲渡し、区域外に買い換える場合(※)における譲渡所得の収入金額について、**最大70%の課税の繰り延べ**ができます。

※ 令和6年4月1日以降は、事前に税務署への本特例措置の適用を受ける旨の届出が必要となります。

#### ◆ 適用期限

- 所得税：令和8年12月31日
- 法人税：令和8年3月31日

※ この特例措置は適用期限があることから、御利用を考えている方は、適用期限内の移転を御検討願います。

#### ◆ 関係法令

- 所得税：租税特別措置法第37条～第37条の4
- 法人税：租税特別措置法第65条の7～9

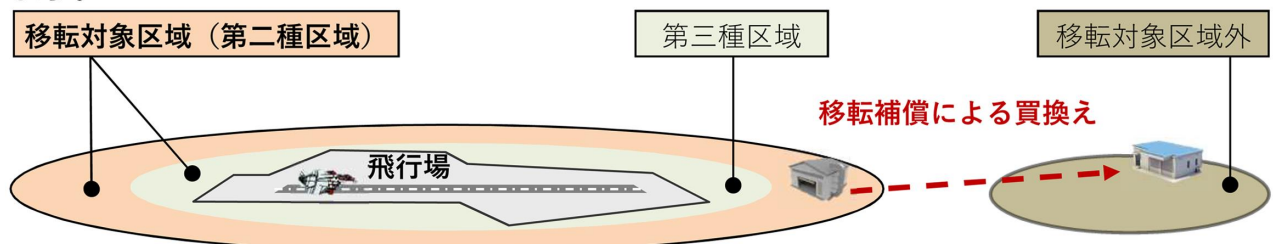
#### ◆ 対象防衛施設

- 芦屋、築城、新田原、鹿屋飛行場

#### ◆ 特例措置を受けようとする税目に関する申告期限までに、管轄の税務署へ申請してください。

#### ※ 移転措置事業の概要

防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律第5条に基づき、移転補償等の対象区域(※)からの移転等を希望する方に対して、**建物等の移転補償や土地の買入れ**を実施しています。



※ 飛行場等周辺において航空機の音響に起因する障害が特に著しいと認めて防衛大臣が指定する第二種区域(第三種区域を含む。)

#### 【お問い合わせ先】

九州防衛局 企画部防音対策課移転措置係 電話：092-483-8824

ホームページアドレス：<https://www.mod.go.jp/rdb/kyushu/>





# 4年ぶり開催！ 日米交流演奏会 2023

## ～Hand in Hand with Harmony～

九州防衛局は、3月16日(木)、長崎県佐世保市のアルカスSASEBOにおいて、「日米交流演奏会2023」を開催しました。来場した約500名の聴衆は日米の子供達が奏でる素敵なハーモニーに心を弾ませました。

4年ぶりとなった本演奏会には、長崎県立佐世保東翔高等学校吹奏楽部、E.J.キングミドル／ハイスクールコンサートバンド(米海軍佐世保基地内)、佐世保ジュニアオールスターズ(佐世保地区中学生選抜バンド)、九州文化学園高等学校吹奏楽部(友情出演)が参加しました。

### 《佐世保東翔高等学校吹奏楽部》

演奏会のトップを飾り、「イン・ザ・ムード」ほか4曲を披露、息の合った演奏と動きにより華やかなステージを繰り広げました。



### 《E.J.キングミドル／ハイスクールコンサートバンド》

「火星 組曲「惑星」より」ほか2曲による楽しく力強い演奏で、観客を魅了しました。



### 《佐世保ジュニア・オールスターズ》

長崎ゆかりのメロディーが登場する「長崎県スポーツ行進曲」ほか1曲を中学生らしく元気一杯に演奏しました。



### 《日米合同演奏》

最後は、九州文化学園高等学校も参加し、日米両国の国歌、「ザ・ローリング・ストーンズ・オン・ツアー」ほか1曲を演奏し、会場を大いに盛り上げました。



日米合同演奏で披露された「ザ・ローリング・ストーンズ・オン・ツアー」をぜひご覧ください！  
(演奏会にご協力いただいた中村先生、前川先生のYouTubeチャンネルより)



### 来場者の声

『米軍基地がある佐世保ならではの、とても素晴らしい取り組みだと思う。』

『静かに聴く日本とよろこびたたえるアメリカの歓声が混じり、心が明るくなった。』



九州防衛局では、今回の演奏会をきっかけとして新たな交流が生まれていくことを願うとともに、今後も様々な日米交流事業に取り組んでまいります。

九州防衛局では不測の事態に対応するため、夜間・休日を問わず連絡体制を確保しております。

### 夜間及び休日の連絡先

電話：(092)483-8832 FAX：(092)472-1959

・平日は17時15分から翌朝8時30分まで、  
休日は終日。